

令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業計画

○伊豆半島観光戦略推進（DMO）事業

1. 事業概要

伊豆半島グランドデザインの推進組織として、伊豆半島の観光地域づくりにおける課題解決に向けた取り組みを実行するとともに、伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合を見据えた事業を展開する。また、連携する域内関係者のすそ野を広げ、域内全体の観光地域づくりを推進する。

2. 事業目的

伊豆半島グランドデザインや観光アクションプランに基づく具体的な取り組みを進め、域内の観光消費額拡大に努めるとともに、自主財源確保に向けた取り組みを行う。

3. 事業効果

策定した観光戦略において、定めた指標（目標）の達成度合いと推進事業の検証を行い、より効果的な事業への転換を図ることができる。

4. 主要事業

（1）伊豆半島観光戦略推進事業（マーケティング推進事業）

- ・アクションプランを推進するための事業
各種会議体の運営と必要に応じた観光関連データのフィードバック及び取り組み方針の合意形成
- ・静岡県及び県内各DMO組織との連携による効率的な事業推進
- ・デジタルマーケティングを通じた顧客ニーズの把握及び計画事業への反映
- ・e-BikeやMTBを活用したレジャー需要吸収を目的としたサイクリングツーリズム促進計画策定に向けた調査

（2）観光コンテンツ商品開発・販売促進事業

- ・旅行企画・商品の開発事業
静岡県観光協会と連携したターゲット別（DC・インバウンド・サイクリングなど）企画・商品開発及び開発支援
- ・旅行プログラム策定流通促進事業
ジオパーク教育プログラムなどの団体旅行企画のセールス
南アルプスユネスコエコパークとの連携を図り、相互交流及び教育プログラム

の流通促進を図る。

(3) 観光事業者採用支援事業

- ・伊豆半島ホテル温泉旅館合同会社説明会
- ・首都圏・静岡県内大学・専門学校就職斡旋情報提供
- ・留学生マッチング相談会

(4) デジタルマーケティング推進事業

- ・旅行意向度調査を実施し、旅行商品の開発促進、効果的なプロモーション等に活用する。
- ・デジタルスタンプラリーを活用したデータ収集

(5) ワークेशन推進事業

コロナ社会に対応した観光地域づくりが求められている状況を踏まえ、伊豆半島におけるワークेशनの取り組みを後押しする事業を実施する。

(6) サイクルツーリズム調査事業【新規】

サイクルツーリズムをテーマとした観光ブランド化のターゲットをこれまでのサイクリスト中心から初心者や一般観光客対象に裾野を広げた取り組みに転換するため、レンタサイクル・e-BikeやMTBなど各市町での取り組みを広域連携し、伊豆半島全体のブランド化促進を図る。各市町での取り組み状況のとりまとめや先進地域での活動を参考に複数年の実行計画を策定。

○国内観光キャンペーン事業

1. 事業概要

伊豆の主要マーケットである首都圏等での観光キャンペーンの開催、また国内で開催される大型観光展等に出展し、地域外へ伊豆の魅力をPRする。

静岡県大型観光キャンペーン推進協議会主催のふじのくにしずおか観光大商談会への参加、交通事業者等と連携したエージェントセールスなどを積極的に実施し、継続して観光交流のプロモーションを実施していく。

東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が静岡県東部及び伊豆地域で開催され、世界的に伊豆半島地域に注目が集まることから、ジオパーク推進協議会等の広域団体と連携を図りながら、伊豆地域外からの誘客を推進する。

また、2022年1月から3月まで実施されるJR東日本重点販売キャンペーンに焦点を置いたキャンペーン事業を展開する。

併せて、2022年1月から、伊豆の国市出身の北条義時が主人公の大河ドラマ「鎌倉殿

の13人」が放映される。県の広域協議会が立ち上がったことから、伊豆の国市推進協議会とも連携し伊豆半島の歴史などの魅力についてもPRを行う。

2. 事業目的

伊豆半島全体を面と捉え、自然・食・文化といった地域の豊かな観光素材を外へ発信していくことで、地域全体の観光来遊客数の増加を図る。

3. 事業効果

伊豆半島全体を面と捉えた広域の観光PRを実施することで、来遊客を地域全体に周遊させることができる。

4. 主要事業

- ・ ツーリズム EXPO ジャパン 2021 大阪・関西など、静岡県と連携した国内観光展への出展及びJR主要駅等での観光プロモーション、セールスの実施
- ・ ふじのくにしずおか観光大商談会（東京・名古屋・大阪）の参加及び交通事業者等と連携したメディア・エージェントセールスの実施
- ・ JRグループ及び旅行会社主催のエージェント説明会に積極的に参加し、商品造成の依頼及び伊豆への誘客促進を図る
- ・ 伊豆総合パンフレットの増刷
- ・ 昨年に引き続き、2022年早春の重点販売地域として「伊豆・箱根・湯河原」が決定し、伊豆半島全体での取り組みを継続
- ・ 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の県の広域協議会及び伊豆の国市推進協議会と連携し、伊豆半島の歴史などの魅力をPRし、舞台地の伊豆の国市だけでなく伊豆半島全体への周遊促進を図る【新規】

○インバウンド（外国人観光客等誘客）事業

1. 事業概要

伊豆地域全体を、外国にPRすることで、伊豆地域全体の認知度を上げる。特に、外国人観光客にとって行政区割りより、観光地としての魅力を伝えるためにも、スケールメリットを考えて事業を推進する。

本年度は、「東京オリンピック・パラリンピック」の自転車競技が静岡県東部及び伊豆地域で開催されることで、世界的に伊豆半島地域に注目が集まる。

特に海外メディアに対して、東京メディアセンターにおけるメディアブースでの観光

プロモーション、メディアオファー、メディアファムトリップ等を開催し、伊豆での取材対応を積極的に行う。

コロナウィルスの関係で、現地での観光プロモーションが出来ない状況を踏まえ、情報発信事業を主とした事業を展開し、並行して、旅行商品の開発を行う。

2. 事業目的

コロナウィルスの関係で、訪日客が見込めない状況にあるが、訪日が見込めるようになった際、伊豆地域を目的地とするための魅力や素材を情報発信し、併せて、旅行商品開発を行う。

3. 事業効果

本事業によって得た知見を会員に伝え、受け入れ態勢の強化を図る。

情報発信では、伊豆地域の紹介を、県観光協会及び日本政府観光局（JNTO）と連携して行うことで、相乗効果が見込める。

併せて、旅行商品の開発を行い、旅行会社やランドオペレータ等へ告知し、商品を販売ルートに乗せるようにすることで、伊豆を訪れる外国人観光客が見込める。

4. 主要事業

（1）情報発信事業

- ・ 外国語ホームページに新規情報の掲載
- ・ 県観光協会及びJNTOと連携した情報発信
- ・ ウェブ用コンテンツ作成
- ・ 市場にあった情報発信

（2）旅行商品開発事業

- ・ 県観光協会、TSJ、JNTO等と連携事業
- ・ 県海外駐在所（台湾事務所 東南アジア事務所 ソウル事務所等）と連携事業
- ・ 県空港振興局、富士山静岡空港株式会社との連携事業
- ・ 県内DMO組織との連携事業
- ・ 旅行商品の開発事業

（3）「東京2020オリンピック・パラリンピック」での観光PR事業【新規】

- ・ メディア向けのブース出展事業
- ・ ファムトリップ対応事業（自転車関連を除く）
- ・ メディアオファー対応事業（自転車関連を除く）

○ホームページ管理及び伊豆半島観光情報発信事業

1. 事業概要

(一社)美しい伊豆創造センターが運営する総合観光情報サイト「ゆうゆうネット伊豆」に掲載している伊豆半島の観光情報の充実を図るとともに、13市町の観光情報サイトと連動した周遊ルート案内サービスの導入やSNS等を活用した効果的な情報発信に取り組んでいく。また、県が進める観光デジタル情報プラットフォームとのデータ連携も進める。

2. 事業目的

「ゆうゆうネット伊豆」に伊豆地域の観光情報・観光関連情報(食や文化など)を集約させ、伊豆の総合観光情報サイトとしての機能の充実を行うことで、閲覧者の利便性の向上を図る。

3. 事業効果

総合的観光情報サイトとすることで、伊豆への来訪客がより観光情報・観光関連情報を取得しやすくなり、また並行してSNSやその他広告媒体での情報提供も行うことで、より幅広い層への効果的な観光誘客が可能となる。

4. 主要事業

(1) 総合観光情報サイト「ゆうゆうネット伊豆」の管理・運営

- ・ゆうゆうネット伊豆の管理・運営
- ・ゆうゆうネット伊豆の定期的な観光情報の更新
- ・13市町の観光情報サイトと連動した周遊ルート案内サービスの導入

(2) 伊豆半島観光情報発信強化事業

- ・InstagramやTwitterなどのSNSやその他広告媒体を活用した情報発信
- ・静岡県の進める観光デジタル情報プラットフォームとのデータ連携

○来遊客周遊性向上事業

1. 事業概要

「サイクリングリゾート伊豆基本計画」を踏まえ、「サイクリングリゾート伊豆」ブランドの定着を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、「サイクリングリゾート伊豆」ブランドの資産化を図る。

2. 事業目的

これまで他組織などでの実施事業により浸透してきた「サイクリングリゾート伊豆」ブランドの更なる定着を図る。

3. 事業効果

サイクリング資源の全国発信や他団体・企業との連携イベント、「伊豆いち」の実施などを通じ、伊豆でのサイクリングの魅力を感じてもらうことで、事業関係者だけでなく宿泊施設や飲食店等への経済波及効果が期待できる。

併せて、静岡ツーリズムビューロー（TSJ）等と連携し、サイクリングをテーマとした、外国人観光客向けの付加価値の高い旅行商品の提案を行うなど、オリンピック・パラリンピック終了後の伊豆半島への誘客促進につなげていく。

4. 主要事業

- (1) 伊豆半島サイクルフレンドリー事業
 - ・伊豆半島サイクリングキャンペーン事業
 - ・「伊豆半島一周サイクリング」開催事業
 - ・サイクリングエリア交流事業

○地域ブランド化事業

1. 事業概要

伊豆半島の豊かな食資源や文化芸能などの様々な魅力を活かし、特徴的な製品のブランド化やPRを通じた観光誘客に軸足を移し、産品・観光両面での伊豆のファン拡大を目指す。

2. 事業目的

伊豆半島地域のブランド力向上と地域経済への波及、また食資源や地域の文化を取り入れた新たな観光商品の造成を目指す。

3. 事業効果

従来型の観光 PR や物産販売に留まらず、カタログギフト商品の制作など、伊豆半島地域の魅力を総合的に発信するとともに、来場者の生の声を受信し、そのブランド力の向上に加え、地域への経済波及に寄与し、その活性化が期待できる。

4. 主要事業

(1) 伊豆半島食コンテンツ強化事業（伊豆の自慢プリン事業）

- ・伊豆半島の食コンテンツ（プリン）による包括的なプロモーションを実施。令和元年度に制作した各種プロモーションツールを活用する。BeautyJapan 事務局と連携し、F1 層への情報発信を実施。

(2) 大型ショッピングモール観光物産展事業

- ・首都圏の大型ショッピングモール及び道の駅にて観光物産展を開催。首都圏の大型ショッピングモールである、山梨県のイオンモール甲府昭和店、埼玉県のエオンレイクタウン kaze 等の2店舗にて実施。伊豆の玄関口である、道の駅伊豆ゲートウェイ函南にて実施。

(3) カタログギフト事業

- ・令和元年度に制作したカタログギフト「美しい伊豆を贈る。」の周知及び販売促進を目的に首都圏メディアへの広告宣伝を実施。

(4) TGC連携事業【新規】

- ・静岡県東京ガールズコレクション事業との連携により、出演者への試食会やSNSの活用を通して、F1層への情報発信を実施。

<観光地域づくり法人としての連携>

1. 伊豆半島ジオパーク推進協議会との連携

伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合を見据え、令和3年度中に、協議会と事業面での連携を深める。

(1) 旅行プログラム策定流通促進

ジオパーク教育プログラムなどの団体旅行企画のセールスを行うとともに、セミナーや現地視察を実施する。

南アルプスユネスコエコパークとの連携を図り、相互交流及び教育プログラムの流通促進を図る。

2. 日本風景街道との連携

(1) 日本風景街道「なごみの伊豆 なごみの道」

伊豆半島全域を対象として活動する「“なごみの伊豆 なごみの道” 風景街道」の事務局として、風景街道関連の事業を実施していく。

<参考>

「“なごみの伊豆 なごみの道” 風景街道」

○地域

国道 135 号、136 号、414 号を中心とした伊豆半島内の道路周辺

○活動目的

伊豆の道が住民や観光客にとって“なごみの道”になるように、伊豆の道風景を住民主体のパートナーシップで守り、磨き、活かしていく。

(2) 太平洋岸自転車道 中部・風景街道ルート連絡会（仮称）

太平洋岸自転車道のナショナルルート指定を見据え、太平洋岸自転車道と地域を結ぶ牽引役となるよう、太平洋岸自転車道に接続・隣接する日本風景街道 7 ルートが連絡会を設置し、連携、協力していく。

3. 大学との連携

伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合を見据え、観光コンテンツの磨きあげなどに学問的なアプローチを図るため、県内にある大学との連携を進めていく。